

研究課題名	当院のリハビリテーション紹介状についての検討
研究代表者	中電病院リハビリテーション科 作業療法士 廉 奈央子
対象者	2020年1月から2020年12月の間に当院を退院された際、介護保険サービス担当者宛にリハビリテーション紹介状を作成し情報提供を行った方
意義・目的	<p>これまでの医療機関内で完結している医療を在宅で提供していくためには、「生活の場」における支援としての医療の在り方や介護との連携方法について、十分に検討していくことが必要とされています。医療と介護の連携を強化していくことが極めて重要になっていきますが、その具体的な課題として、退院時における入院医療機関と在宅介護の連携が挙げられています。</p> <p>リハビリテーション専門職(理学療法士、作業療法士等)においては、入院患者様が退院する際に、入院中の情報を書面で提供することが多くあります。これまで、当科では通院先の医療機関のリハビリテーション専門職への情報提供が多い傾向でしたが、患者様の高齢化や疾患の多様化に伴い介護保険サービス担当者様へ情報提供するケースが増加しています。そこで、本研究では当科におけるリハビリテーション紹介状の内容の現状を明らかにし、介護保険などサービスを利用するにあたって有益な情報を提供できるようにフォーマットを修正することを目的とします。</p>
方法	<p>2020年1月から2020年12月の間に当院を退院され、介護保険サービス担当者宛に作成したリハビリテーション紹介状を対象とします。担当者が紹介状の自由記載欄に記載している情報を、国際生活機能分類のICFコードを用いて[心身機能・身体構造、活動・参加、環境因子、個人因子]に分類します。</p> <p>国際生活機能分類とは、人間のあらゆる健康状態に関係した生活機能状態から、その人をとりまく社会制度や社会資源までをアルファベットと数字を組み合わせた方式で分類し、記述・表現をしようとするものです。ICFでは、人間の生活機能と障害について、「心身機能・身体構造」、「活動と参加」、それに影響を及ぼす「環境因子」について、合計約1500項目に分類しており、それぞれの項目は、アルファベットと数字を組み合わせた方式でコード化されています。</p>
患者様のデータの 使用について	本研究内で得られたデータについては、個人が特定されることのない形で、作業療法士の学術大会等で使用させていただくことを予定しています。
個人情報の保護に ついて	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることはありません。研究に資料を提供したくない場合は、2021年4月30日までに申し出ください。申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等 の窓口	<p>〒730-8562 広島市中区大手町3-4-27 中電病院 リハビリテーション科 作業療法士 廉 奈央子(研究代表者) 電話 (082)241-8221(代表) E-mail T5414023@pnet.energia.co.jp(リハビリテーション科)</p>